

第5学年 道徳学習指導案

日 時：平成29年9月29日（金）5校時

児 童：第5学年

指導者：

- 1 主題名 相手の立場を考えて【B－（11）相互理解、寛容】
- 2 資料名 すれちがい（学研）
- 3 主題設定の理由

（1）価値について

高学年の内容項目B「主として人との関わりに関すること」の（11）に「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心もち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。」とある。これは、広がりや深まりのある人間関係を築くために、自分の考えを相手に伝えて相互理解を図るとともに、謙虚で広い心もち、互いの違いを認め合い理解しながら、自分と同じように他者を尊重する態度を育てることをねらいとした内容項目である。

この内容項目は、中学年の内容項目B（10）「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。」を受けたものであり、中学校の内容項目B（9）「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。」へ発展していくものである。

互いを理解し合うためには、まず自分の考えをきちんと伝えることが大切である。自分の考えが伝わらなければ、相手の理解を得ることはできず、尊重もされない。その上で、広い心で相手の考えを受け止め、自分とは異なる考えや意見を尊重する姿勢が必要になる。

この時期の児童は、自分とは違う意見や立場があることや、それを受け止めることの必要性は理解している。一方で、自分の考えを伝えたつもりでも理解してもらえないことに苛立ったり、自分本位な考えから相手の失敗や過ちを一方向的に非難してしまったりする弱さももっている。

以上のことから、自分の考えをきちんと伝えることの重要性や、相手の立場や考えを広い心で受け止め、尊重しようとする心情や態度について考えることは、大変意義深いことであると考えられる。

（2）児童について

5年生の児童は、自分の意見を無理に押し通したり、相手を強く非難したりするようなことはあまりなく、穏やかに毎日を過ごしている。縦割り班の活動や遊びの場面では、下級生の多少のわがままや過ちを責めずに受け止めることができる。

一方で、上級生や同級生に対しては、不満を抱きつつも、トラブルを避けるために相手の意見に合わせたり、どうせ言っても無駄だろうという諦めから自分の意見を押し殺してしまう場面も見られる。相手の意見を受け止めているのではなく、自分さえ我慢すれば丸く収まるという消極的な態度であるため、結局不満をため込んでしまいがちである。また逆に、相手が譲ってくれることに甘えて自分の意見を通してしまふことが多い児童もいる。

これらの実態から、相手に歩み寄って互いの立場や考えを尊重することの大切さについて考えさせ、自分の考えを押し付けたり我慢したりせずに伝えようとする気持ちや、広い心で相手の立場や考えを受け止めようとしたりする態度を育てたいと考える。

（3）資料について

資料『すれちがい』は、よし子とえり子の思いのすれ違いが、それぞれの日記の形で書かれている。よし子はピアノの稽古に一緒に行こうとえり子から誘われた。えり子は、急用のため、後で待ち合わせの時刻を連絡するという約束を守ることができず、よし子は一方的に決めた待ち合わせ時刻に来ないえり子に

腹を立てる。えり子はよし子に謝ろうとしたものの無視され、互いの気持ちがすれ違ってしまふ。

本資料には、相手の状況を知らずに約束を破られたと判断して腹を立てるえり子と、自分の事情や思いを受け止めてもらえず腹を立てるよし子の言い分が書かれている。児童にとっては、どちらの立場も似た経験があると思われ、共感しやすい資料であるといえる。すれちがいの原因について考えさせ、互いの立場や考えを尊重することの大切さに気付かせることで、ねらいとする価値に迫っていきたいと考える。

(4) 他の教育活動などとの関連

児童は、各教科等の授業において、似ている意見、異なる意見、自分の意見などを大事にしながら学習を積み重ねてきている。また、外国語活動におけるALTとの触れ合いなどから、世界にはいろいろな文化や考え方があり、それぞれが尊重されるべきものであることを体験的に理解してきている。

道徳においては、本時の「すれちがい」で自分の考えをきちんと伝えること、相手の考えを広い心で受け止め、尊重することについて考えを深める。3学期には、「名医、順庵」で相手の立場で物事を考え、過ちなどに対して寛容な心で対処することの大切さについて考えを深めていく。

4 資料分析図

| | | |
|---------------------------------------|--|--|
| <p>主要場面</p> | <p>よし子は、えり子とピアノの稽古と一緒に行く約束をし、えり子からの連絡を待っていたが、電話には気付かなかった。その後、えり子の母に待ち合わせを二時にすることを伝えたが、それはえり子には伝わらず、しばらく待ってもえり子が来ないことに腹を立て、ピアノの先生の家へ向かった。そこで遅れてきたえり子にあったが、知らん顔をした。</p> | <p>えり子は、よし子と一緒にピアノの稽古に行く約束をし、待ち合わせ時刻を電話で連絡することにしたが、来客のため買い物に行かなければならなくなった。一度よし子の方に電話したものの、誰も出なかったため買い物に行ったが、スーパーは混んでおり、よし子が決めた待ち合わせ時刻には間に合わず、慌ててピアノの先生の家に向かった。そこでよし子に謝ろうとしたが、知らん顔をされてしまった。</p> |
| <p>心の動き</p> | <ul style="list-style-type: none"> 電話すると言ったのに、約束を守ってくれない。 午後二時と伝えたのに、なぜ来ないのだろう。 連絡も来ないし、なぜこんなに待たなければならないのだろう。 言い訳なんか聞きたくない。 もう付き合いたくない。 | <ul style="list-style-type: none"> 電話できなかったことは申し訳ない。 待ち合わせ時刻を勝手に二時に決めるなんて。 こちらの言い分も聞いてほしい。 仕方なかったのに。 もう二度と一緒に行きたくない。 |
| <p>気付かせたいこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> よし子は、自分の思いや都合だけで行動して腹を立てており、えり子の思いや事情を想像したり理解したりしようとはしていない。 自分の思いを言葉で伝えようとしていない。 | <ul style="list-style-type: none"> 約束を守れなかったことに申し訳なさを感じているが、自分の事情を聞き入れてもらえなかったことに苛立っている。 相手の態度を見て、自分の思いを伝えることをやめている。 |
| <p>主な発問</p> | <p>○えり子に対して知らん顔をしたよし子は、どのようなことを考えていたでしょう。</p> | <p>○よし子がえり子の日記を読んだら、どのようなことを考えましょう。</p> |
| <p>◎皆さんが二人の友だちなら、どのようなアドバイスをしますか。</p> | | |

5 本時の指導

(1) ねらい

よし子の日記とえり子の日記をそれぞれ相手の立場に立って読み、どうすれば思いがすれ違わずに済んだか考えることを通して、相手の思いを分かろうとすることや自分の思いを伝えることの大切さに気付かせ、互いに歩み寄りながらよりよい人間関係を築こうとする態度を育てる。

(2) 展開の概要

| 段階 | 学習活動と主な発問 (○) | 期待する児童の反応 (・) | 指導上の留意点 (*) |
|------------|---|---|---|
| 気づく 10分 | <p>1 問題意識を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> よし子の日記のみ提示する。 <p>○えり子に対して知らん顔をしたよし子は、どのようなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> えり子の日記を提示し、資料名が「すれちがい」であることを伝える。 <p>○よし子とえり子は何がすれ違ってしまったのでしょうか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 電話すると約束したのに。 連絡もくれないなんてひどい。 30分以上も待っていたのに。 今さら謝られても。 もう付き合いたくない。 <p>・気持ち</p> | <p>*紙板書等を使い、よし子が何に苛立っているかを整理する。</p> <p>*よし子の苛立ちに共感させる。</p> <p>*よし子の気持ちに十分に共感したところでえり子の日記と資料名を提示し、問題意識を持たせる。</p> |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 気持ちのすれちがいをなくすには、何が大切なのだろうか。 </div> | | |
| 深める | <p>2 資料「すれちがい」を読んで話し合う。</p> <p>○よし子がえり子の日記を読んだら、どのようなことを考えるでしょう。</p> | <ul style="list-style-type: none"> そういう事情なら仕方ない。 えり子さんは、精一杯約束を守ろうとしていたんだ。 知らん顔してごめんね。 話を聞いてあげればよかった。 自分のことしか考えていなかった。 謝らなければ。 | <p>*よし子が自分本位な考えで苛立っていることや、相手の事情を考える気持ちが足りなかったことに気付かせる。</p> |
| | <p>○えり子がよし子の日記を読んだら、どのようなことを考えるでしょう。</p> | <ul style="list-style-type: none"> お母さんがすぐ帰ると言ったから、待ち合わせを2時にしたのか。 30分以上も待っていたのなら怒るのも仕方ない。 約束を破ったと思われても仕方ない。 | <p>*発問の前に紙板書等を使い、えり子が何に苛立っているかを整理する。</p> <p>*えり子は自分の言い分を聞いてもらえなかったことに苛立っており、よし子の立場で考える気持ちが足りなかったことに気付かせる。</p> |
| 15分 | <p>◎皆さんが二人の友だちなら、どのようなアドバイスをしますか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> よし子さんは、えり子さんの話を聞いてあげるといいよ。 えり子さんは、約束を守ろうと頑張ったことを伝えたほうがいいよ。 すぐに怒らずに、落ち着いて考えた方がいいよ。 相手の気持ちを考えてあげるといいと思うよ。 | <p>*互いに自分の気持ちを伝えていないことや、相手の気持ちを分かろうとしていなかったことをおさえる。</p> |

| | | | |
|--------------------|--|--|---|
| <p>つかむ 5分</p> | <p>3 価値について話し合う。 ○気持ちのすれ違いをなくすためには、何が大切なのでしょう。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 相手の話を聞くこと。 相手の気持ちを分かろうとすること。 自分の気持ちをきちんと伝えること。 | <p>*自分の気持ちを伝えることも、広い心で相手の気持ちを分かろうとすることも大切であることをおさえる。</p> |
| <p>広げる 12分</p> | <p>4 今日の学習で感じたことを交流する。 ○今日の学習をしてみて、感じたことを書きましょう。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 今までは、言いたいことを我慢することが多かったけれど、きちんと伝えることが大切だと分かった。 自分がイライラしている時は、相手の気持ちを考えることができなかったけど、考えてあげようと思った。 | <p>*今日の学習で考えたことや分かったこと、これまでの自分を振り返って感じたこと、これからしていきたいことなどを「こころのせせきノート」に書かせる。</p> |
| <p>まとめ 3分</p> | <p>5 相田みつをの「セトモノ」の詩を読む。</p> | | <p>*「そういうわたしはいつもセトモノ」という最後の言葉から、大人でも広い心をもつことは難しいが、そういう自分を知っていることが大切であることをおさえ、実践への意欲につなげる。</p> |

(3) 板書計画

